

2 0 2 5

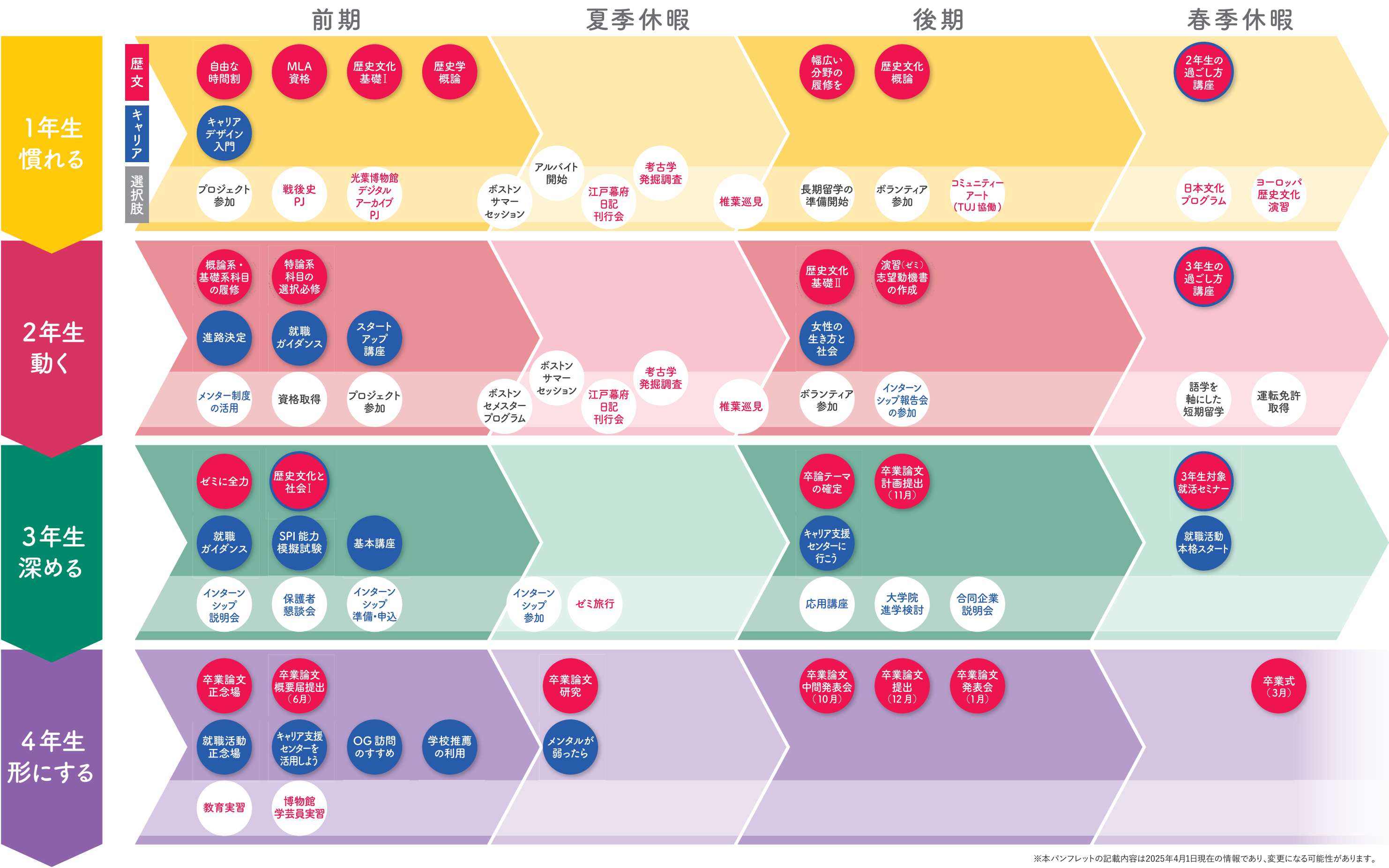
歴文生の4年間

—人生の土台とするために—



社会へはばたくための4年間にしよう

大学4年間の基本的な考え方



※本パンフレットの記載内容は2025年4月1日現在の情報であり、変更になる可能性があります。

大学1年生 大学生生活に慣れる

1年生は「慣れる学年」。

スタートダッシュを焦る必要は全くない。仲間との交流を深めながら大学生活に慣れよう。

message

1年生へのメッセージ

ご入学おめでとうございます。期待と不安が入り混じるかもしれませんが、不安は挑戦への準備であり未来への第一歩です。焦らず、自分のペースで新生活に慣れていきましょう。慣れた頃には、国内外での学びや多彩なプロジェクトが皆さんを待っています。これらの経験は自分らしく成長し可能性を広げる貴重な機会となるでしょう。また、大学生活では多様な価値観を持つ人々との出会いを通じて、新しい自分を発見する場が訪れるはずです。新たな挑戦を楽しみながら、充実した4年間をお過ごしください。



村上 夏希
歴史文化学科 / 文化財保存学

自由に組める大学の時間割

授業履修では迷うことだらけ。でも迷ったら取ってみる!! 1年前期で少々失敗したと思ってあとから挽回可能。取りたい授業を取るべし。チャレンジチャレンジ!!

MLA 資格も目指せます

MLAのMはMuseum(博物館・美術館)、LはLibrary(図書館)、AはArchives(文書館)を指し、それぞれの資格を組み合わせることで、社会における幅広い活躍を目指せます。

歴史文化基礎Ⅰ

大学での学びの基礎を学ぶための授業。先生からの密な指導で、研究・調査・発表の基礎力を身につけよう。一緒に学んでいく友達づくりも頑張ろう!

歴史学概論

高校までの歴史と大学の歴史は全然違う。歴史と過去の違いとは? 歴史との向き合い方とは? たくさんの問いと向き合い、「歴史の生産者」への一歩を踏み出そう!

ポストンサマーセッション

昭和ポストンを代表する夏の短期海外学習プログラム。気持ちの良い季節に1ヶ月おこなわれます。講義と実地研修を組み合わせた実習型の授業があなたを強烈に鍛えます。「ミュージアム&アートコレクションズ」「アメリカ文化」……などたくさんのグループから自分にあった分野を選択可能。行く前と行った後で学生たちの顔つきが変わります!!

幅広い分野の履修を

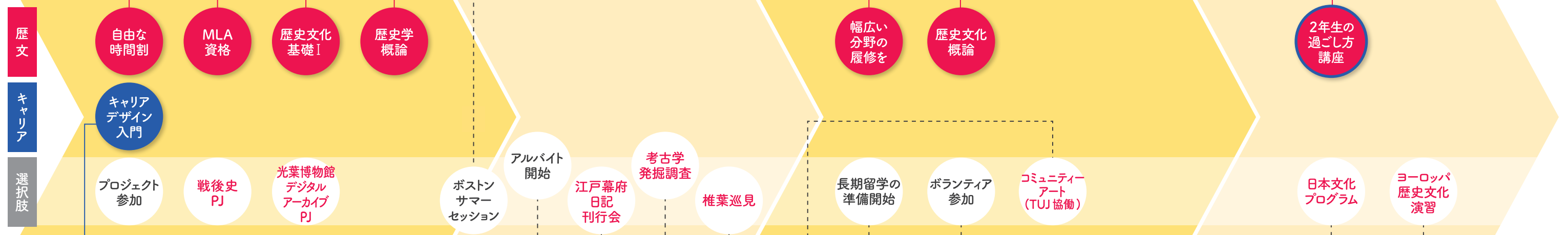
大学の授業には慣れましたか? 歴文の授業履修の自由度は非常に高く、分野を横断しての学びが、歴史文化への理解を加速させていると考えています。「一点集中」もありますが、この学期には是非「幅広い履修」を心がけ、関心や知識の幅を広げよう。日本史(世界史)やったことないから不安? うだうだいわずにチャレンジだ!!

歴史文化概論

歴文全教員がオムニバスで担当する必修科目。それぞれの先生の専門分野の学問的魅力を伝えます。歴文の特長は歴史学に加えて、地理学、民俗学、芸能史、美術史、考古学、文化財保存学などを幅広く学べること。全分野に触れた上で専攻分野を決めるべし! 授業内ではゼミでの学び方や身につく力などにも触れます。ゼミ選択の参考にして、2年次の履修計画を練ってこよう。

2年生の過ごし方講座(必修)

「動く学年」である2年次の活動は多彩です。海外留学、プロジェクト、ボランティア、サークル……。2年次でどれだけ失敗と成功の体験をできるかが、3・4年次の卒業論文と就職活動のゆくえを左右します。この講座では2年次のみなさんに与えられた選択肢を説明し、自分の軸を強く意識した1年とするためのアドバイスをします。



キャリアデザイン入門

社会で活躍できる人となるために、夢や目標をつくり、将来を見すえて充実した4年間を組み立てるための基礎を学びます。自分の将来像をしっかり描こう!

アルバイト開始!

バイト経験は就職活動でほぼ100%質問されるぞ。1年夏はバイト開始の絶好のチャンス! 失敗したって構わない。チャレンジすべし! 面接で落ちても何度もチャレンジ!

江戸幕府日記刊行会

くずし字で書かれた江戸幕府日記をみんなで翻刻し、誰でも読める史料集として刊行。大事な史料を社会へ発信する意義ある学問的営みにあなたも参加しませんか?

考古学発掘調査

学問的にも重要な発見を重ねてきた歴史ある発掘調査。準備学習にもしっかり参加! 女子大生×汗×筋肉=歴文の発掘調査

TUJ との連携を活用しよう

歴文はテンブル大学ジャパンキャンパス(TUJ)とのコラボも盛ん! 専門科目「コミュニティアート」は、全国的に珍しい日米大学の合同授業です。

椎葉巡見

フィールドワークの手法を身につけたいなら地域の記憶をほりおこす椎葉巡見にこよう。民俗学にハマる多くの学生を生んでました。

長期留学の準備開始

長期留学をする時期としては①2年後期、②3年前期、③2年前期の順でおすすめしています。①が一番時間的余裕があり、もしさらに半年延長したくなくても、①→②の1年間留学できるからです。そして長期留学の1年前には手続きなどの準備をはじめよう。まずはクラスアドバイザーに相談し、国際交流センターで情報を集めよう!

ボランティア参加

1・2年生のうちにボランティアプロジェクトに参加して、実践的な力を身につけることはもはや必須! コミュニティサービスラーニングセンターにボランティア情報が集まっています(1号館1階)。「なにかやりたいんだ!」と相談してみると、優しい職員さんがあなたにあったボランティアを紹介してくれますよ! 国際ボランティアもあり!

日本文化プログラム

歴文・日文共同開催の短期ポストンプログラム。人文系の学生の関心に特にフォーカスしたプログラムが用意されているぞ! 57万円台~(2024年度実績)。

ヨーロッパ歴史文化演習

歴文独自の海外研修プログラムです。ヨーロッパの史跡や博物館・美術館などで、先生の解説を聞きながら「本物」を味わいます! 50万円台~(2024年度実績)。

大学2年生 主体的に選択し、チャレンジする

2年生は「動く学年」。
多くの選択肢から学問分野と課外活動を組み合わせ、大学生活を組み立てよう。

message

2年生へのメッセージ

2年生は「動く学年」です。大学生活に慣れた今こそ、大学生活後半の卒論と就職活動に備え、どっしりした土台を築く1年にしよう！ 課題は2つ。1つはゼミ選択をイメージして計画的に科目履修を進め、研究の方法と基礎的知識を身につけること。もう1つは自分の関心や伸ばしたい力をイメージしながらプロジェクト、ボランティア、海外研修などの課外活動に必ず参加すること。この1年のキーワードは「選択」と「計画性」。チャレンジの中で多くの成功と失敗を積み重ね、自分の「色」を見つけよう！



松田 忍
歴史文化学科／日本近現代史

概論系・基礎系科目の履修

2年次の科目履修は、ゼミ選択を強く意識すべし！ 各ゼミに入るために履修しておくべき科目については1年次の「歴史文化概論」を参考に。どの分野に進むにしても、その分野の「知識」を学ぶ概論系科目、「研究方法」を学ぶ基礎系科目を履修しておくのが2年次最大のミッション。複数のゼミで迷っている人はそれぞれ履修した上でゼミ選択しよう。

特論系科目の選択必修

2年次から特論系科目の選択必修が始まります(分野によっては3年次から)。各ゼミや関連する分野の科目を検討・履修し、専門性を高めながら、ゼミに臨みましょう。

資格取得はいかが？

「文書情報管理論」では授業内に資格試験受験可能！ 学外資格もあり！ 観光業を目指すなら旅行業務取扱管理者試験はどう？ 秘書検定や世界遺産検定も面白いね！

プロジェクト参加

2年生は「動く学年」。プロジェクト(PJ)参加が特におすすめ。社会で活躍する人たちとの協働体験を通じ、積極的に動くマインドを身につけよう。歴文には、江戸文化が残る浅草の魅力を発信するPJ、戦後史料を後世に伝えるPJ、光葉博物館デジタルアーカイブPJ、など多数のPJを用意。学科の枠組みを越えたPJもあるぞ。UP SHOWAの募集情報をしっかりチェック！

夏休みの過ごし方

2年次に参加できる夏のプログラムは、1年次同様、ボストンサマーセッション、発掘調査、椎葉巡見、さらに語学系の海外短期演習もあります。長い4年間と思いがちですが、3年次以降はインターンシップや就職活動で夏の予定は必然的に詰まってきます。いろいろなことを気にせず思いっきりチャレンジできるのは2年生まで。その数少ないチャンスを確実に生かしていこう！

歴史文化基礎Ⅱ

3年生から始まるゼミの選択に備え、授業内でゼミを体験することを通じて、専門分野に進む上で取得しておきたい基礎知識や研究手法について理解するための授業です。

演習(ゼミ)志望動機書の作成

2年後期には教員との個人面談を踏まえて、演習志望動機書を提出します。人数調整を行う場合もあります。この段階までに希望ゼミ関連の授業を履修しておこう！

3年生の過ごし方講座(必修)

2年次にみなさんが「選択」したことに応じ、3年次は「深める学年」となります。3年次の2本柱である「ゼミおよび卒業論文研究」「インターンシップ、就職活動支援講座、就職活動」を万全の体制でスタートするためのアドバイスが本講座でおこなわれます。これから密にお世話になるキャリア支援センターの職員さんのお話もしっかり聞こう！



進路選択のタイミングはここ！

2年最初の段階で、「歴史的思考力を身につけた職業人(一般就職)」の道か、「教職、学芸員、公務員などの専門職」の道か、どちらを目標とするかを決定せよ！！

歴史的思考力を身につけた職業人になる

歴文で学び、歴史的思考力を身につけることは、社会の幅広い分野で活躍するための「最強の土台」となる！ 学問的研鑽を積みつつ、学科での学びを実践につなげるために、プロジェクト、ボランティア、海外演習などから選択し、ベストな1年間を組み立てよう！！

歴史文化の未来を担う専門職を目指す

教職、公務員などの専門職を目指す場合、4年次の試験に備え、数百時間以上勉強する必要があります。2年次からの準備が不可欠！ ①試験情報の入手、②必要科目の洗い出し、③模試を含めた学習計画に沿った地道な学習、④ダブルスクールの検討が必要。

就職ガイダンス(必修)メンター制度

商社？ メーカー？ SE？ 企画？ 営業？ 1年後もイメージがないのはマズすぎる！ キャリア支援センターでは、就活の進め方から業界セミナーなど様々な講座を開催しているぞ。講座に参加して就活や仕事のイメージをつけよう！ 講座に参加したら、さらに軸を絞ってメンターさんに会おう！ フェアやカフェもいいけど、個別メンタリングもおすすめ！

ボストン長期留学(春期・秋期)

ボストン留学は安心・安全にチャレンジ可能。参加時は英語力不問なので留学してから伸ばせばOK！ 現地との信頼関係を築いてきた自前キャンパスならではの体験も多数！

女性の生き方と社会

現代社会における女性の労働問題(例えば、待機児童問題、女性管理職の少なさなど)について、解決方法などを皆さんと一緒に考えていく授業です！

2年生の落とし穴

2年生は自ら選択し、「動く学年」です。2年生は4年間の大学生活の中で、時間的なゆとり、気持ち的なゆとりが一番ある時期だと思います。逆にいうと、自分で選択していかないと、「私何のために大学入ったんだろう？」「毎日がつまらない」となってしまう可能性が大きいです。自ら選べ！ そして1年間のスケジュールを組み立てよう！

語学を軸にした短期留学

その国への関心があって選択した第2外国語、勉強しっぱなしはもったいない！？ 短期留学は春にも開催。スペイン語学研修やクイーンズランド大学英語研修などはいかが？

運転免許の取得

就職活動に運転免許は必須ではないが、入社までに取得を求められる場合がある。4年次の春休みになって慌てないように、2年次の春休みあたりで取得するのはいかが？

大学3年生

自らと向き合い、強みを伸ばす

3年生は「深める学年」。
研究とキャリアの双方において、自らの強みをさらに伸ばすべく行動しよう。

message

3年生へのメッセージ

3年生は「深める学年」です。この学年では自分と向き合うことを大切にしましょう。ゼミでは、研究テーマを自分の力で選び、方法論について考え、自ら学問上の問題を見つけることが必要になります。自分と向き合うことは、キャリアを考える上でも必要です。自分の特性を知り、それを活かせるフィールドを探すために社会人と話すほか、インターンシップに参加することが大切です。ゼミとキャリア形成の2本柱を盤石なものにして、4年生に備えましょう。



永井 裕子
歴史文化学科 / 西洋美術史

ゼミに全力投球を！

3年生は「深める学年」。自らの強みをさらに伸ばすべく行動しよう。ゼミが始まる3年生では、これまで学んできたことをベースとして、学問を深めます。せっかく歴史文に入ったのですから、研究に全力投球を！ゼミで身につける力はいずれも社会に直結する力ばかりです。学問と社会を切り離して考えないこと、そして研究する力を自らの糧として、さらなる成長を！

歴史文化と社会Ⅰ

キャリア教育も本格的にスタート！エントリーシートの作成を通じて自己を知り、夏のインターンシップを目標とします。外部講師やOGの講演、グループディスカッションやポートフォリオの作成、大学院での学びや歴史文で取得できる資格を生かした職業についての講義などを通じて、歴史文で培った力を社会に向けてどのように発信したらよいかを考え、実践する力を養いましょう！

夏休みの過ごし方

3年の夏休みは卒業論文とキャリアの土台作りの重要な時期。後期には、すぐ卒業論文計画を作成することになるので、研究テーマに関わる基礎調査を夏休みにおこなうべし！またキャリアをみすえた準備としてはインターンシップ参加が必須！いろいろと気忙しくなる頃ですが、焦らず、早めに計画を立てれば、旅行や海外演習なども組み込むことができますよ！！

卒論テーマの決定 卒業論文計画提出(11月)

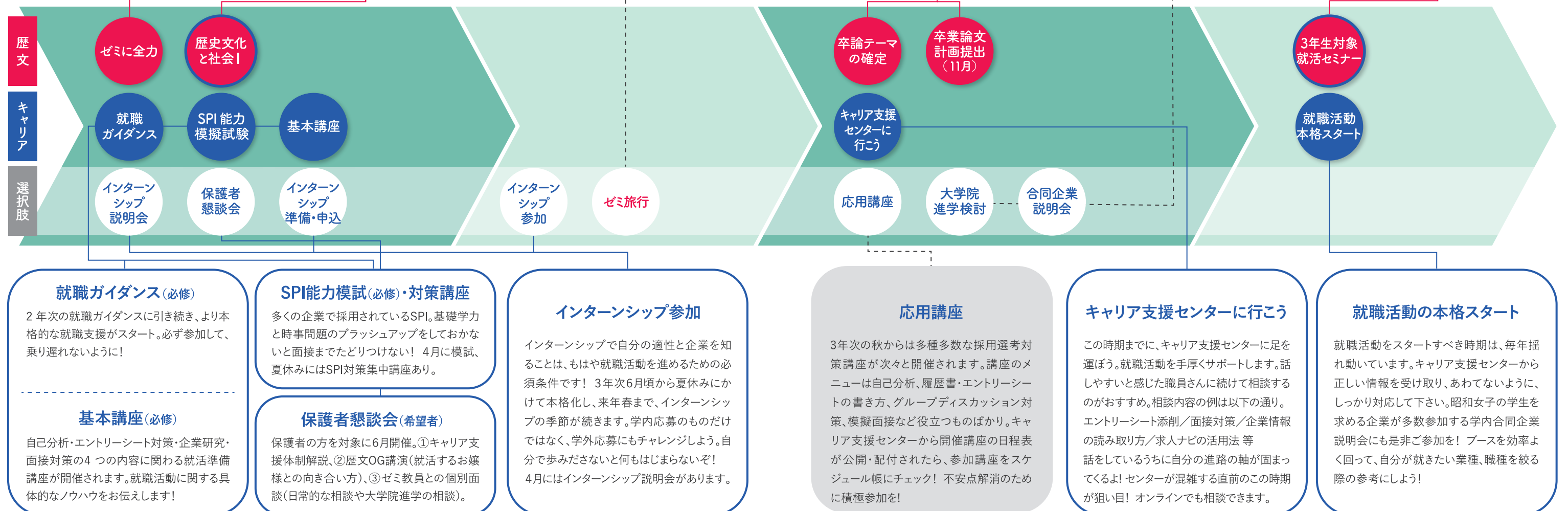
卒業論文に向けての研究指導はゼミによって大きく異なりますが、どのゼミに所属していても3年次の秋には卒業論文計画を学科に提出します。研究テーマや研究視角、使用する文献や史料、卒論完成までの研究スケジュールなど、書く内容はもりだくさん。この段階であわてないように、ゼミの先生にしっかり相談して準備しておこう！

大学院進学を検討

大学卒業後さらに研究に打ち込みたい場合や専門職を目指す場合は大学院進学も視野に。2022年から記録の選別や保存を行うアーキビストを養成するコースも始まりました。院は修士課程が2年、さらに進学すれば博士課程が3年間あります。入試形態もさまざま。3年後期にはゼミの先生に相談しておこう！

3年生対象就活セミナー

みなさんの就職活動の開始を、学科としてもサポートします。このセミナーでは、専門業者の講師の先生にエントリーの仕方や面接対策について、丁寧かつ実践的な指導を行っていただきます。3年生で学んできたことやインターンシップ等で活動してきたことを振り返り、自信をもって就職活動に臨みましょう！



大学4年生

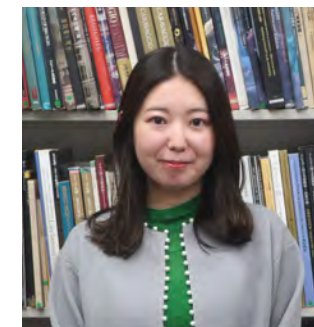
これまでの努力を信じ、活動する

4年生は「形にする学年」。
卒業論文でも、就職活動でも、今までの学びを完成させるよう日々努力しよう！

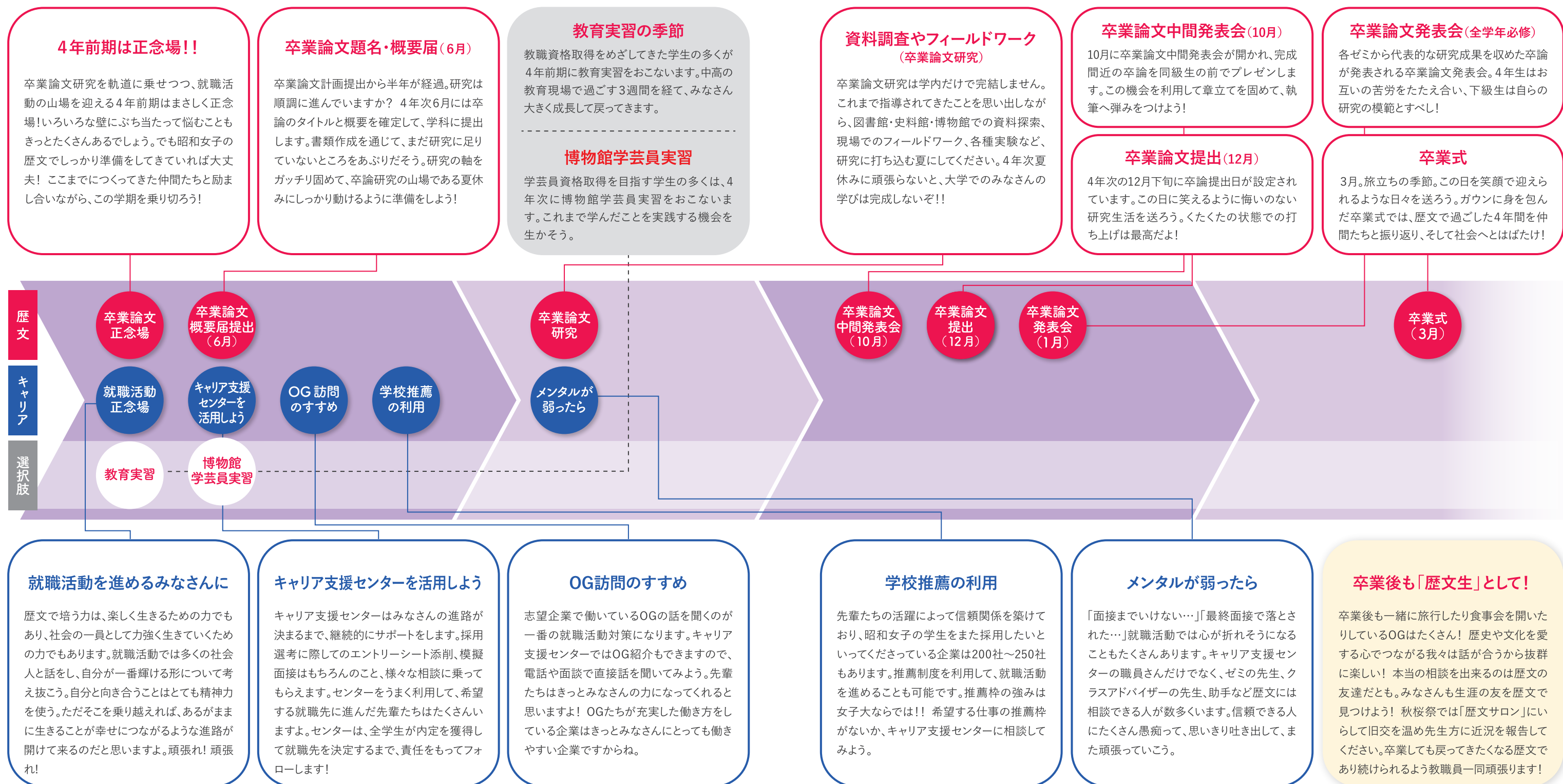
message

4年生へのメッセージ

キャリア支援の目的は、みなさんが自らの強みを活かし、夢を実現できる就職先・進学先と「縁」を繋ぐことにあります。キャリア支援センターは、みなさんにとって役立つ情報をたくさん用意し、提供しています。講座やメンター制度の取り組みに加え、特筆すべきは面談を通じた個別支援です。経験豊富な職員が、みなさんの強み・魅力を的確に引き出し、自信を持てるよう後押しします。「就職の面倒見の良い大学」として知られる本学の支援を十分活用するためにぜひ足をお運びください。



石井 真樹 (2017年 歴文卒)
キャリア支援センター／歴文担当



歴文での経験を活かして

始関 優圭

JA共済連千葉
2022年卒業



私は保険業の事務をしています。新たに配属された支店職員へ事務手続きについて研修会を実施するなど、お客様と直に接する方をサポートする仕事をしています。職員の方々に「よく理解できた。」など感謝のお言葉をいただくとやりがいを感じます。

学生時代は椎葉巡見やヨーロッパ歴史文化研修への参加など、多くの人と交流する機会を持ちました。仕事上、沢山の方の前で説明する際に、歴文での学びを通して身に付けた、歴史史料や文献を読みこみ分析する力や、文化・習慣の異なる人々とのコミュニケーション能力が仕事に役に立っています。歴文には魅力的な授業やプログラムが豊富にあります。積極的に参加し、充実した4年間を過ごしてください。(保険／事務)

歴文での学びを胸に社会へ

三枝 真緒

三井倉庫ビジネスパートナーズ(株)
2021年卒業

文書保管やデジタル化を行う会社で営業をしています。特に図書館の収蔵資料デジタル化の担当をしており、歴文で身につけた資料取り扱い等の専門知識がお客様からの信頼を得るうえで非常に役立っています。また、会社勤めながら大学院で学びを深め、准認証アーキビストの資格も取得しました。

歴文で過ごす4年間は、思い返してみればあっという間でした。自分の「好き」な歴史・文化をとことん突き詰めて研究できる環境が歴文にはあります。卒論は大変ですが、研究方法の検討、情報の収集・研究、そして最後にまとめる力は必ず社会にでも役に立ちます。貪欲に学び、研究し、そして4年間を楽しんでください!(倉庫／営業)



「手で考え、足で見る」の教え

岩井 彩希

(株)エンプラス
2024年卒業



私は半導体関連機器メーカーで品質管理の仕事をしています。ものづくりに興味があり、この仕事を選びました。品質管理部門では、「現場」「現物」「現実」を意識した上で問題を捉える三現主義を大切にしています。これは、歴文の「手で考え、足で見る」という格言と通じています。椎葉巡見の聞き書きや、卒論のフィールドワークから、実際に触れてみて得たものは文献や動画と比べると情報量が違うことを知りました。この経験が今にも生きていますし、出張に行き現場を見ると、自分の仕事が繋がって役に立っているのだと思い、やりがいを感じます。

歴文での4年間、興味を持ったことには全力で取り組み、チャレンジする気持ちを忘れずにいてください。応援しています。(メーカー／品質管理)

挑戦と学びで楽しい4年間に!

坂本 明沙美

(株)マイナビ
2021年卒業

私は医療系職種の人材紹介の営業をしています。歴文の学びの中では、ある仮説を立て、検証するため、資料を悉皆分析していました。今は採用を成功に導くため、ターゲットとなりそうな求職者像の仮説を立てます。その方に対しクライアントの魅力の中のどこを中心にお伝えしたら良いのかなど考え紹介し、実際に良いご縁となった時にやりがいを感じます。また、教職課程、プロジェクト活動など様々な挑戦するようにしており、その中で関わった友人と卒業後も関係性が続いています。そして、私は歴史は自分の生活に地続きだと気づき、今の社会に関心を持つようになりました。学びが仕事に直結はしませんが、どこかでまわりまわって繋がります。頑張ってください!(人材／営業)



実はつながる 歴史とシステム開発

加藤 那菜

IT関連会社
2017年卒業



SEとしてシステム開発をしています。システムにお客様が心から納得された様子を見た時や、難しい機能を実装できた時は、確かなやりがいと自分の成長を感じられます。歴文で学んだ物事を明らかにしたいという探求心と答えを得るまでの過程は、現在も大変役に立っています。どれだけ難しい機能も実現に向け、顧客・チームメンバーを巻き込み、課題を1つ1つ解決しながら開発していくことができています。

歴文での4年間、興味があることは全力で追いかけてください。先生方に自ら働きかけ、より多くの視点を学んでください。そして、得た知識をアウトプットすることで、多角的な視点や研究過程も自分の力として定着し、社会で大いに役立つと確信しています。(システム開発 / SE)

卒業してから気付く、歴文での学び

稲川 瞳

(株)みずほ銀行
2017年卒業

私は銀行窓口に来店されたお客様を対象に資産形成の提案をしています。資格試験が多く大変ですが、お客様から感謝の言葉を頂けた時にはやりがいを感じます。大学生活の中で、多くの行事に参加をしました。特に力を入れたのは椎葉巡見です。巡見を通して人との関わり方を学ぶことが出来ました。巡見参加前には村の方へお手紙を書くなど事前準備をします。学生時代は事前準備の重要性などは理解していませんでしたが、人とのリレーションを築くためには重要なことです。ぜひ一度椎葉巡見に参加してみてください。歴文には学ぶ機会がたくさんあります。社会人になると、自分から積極的に行動しないと学ぶ機会や人と関わる機会は減ります。何事にも興味関心を持ち、充実した4年間を過ごして下さい。(金融 / 営業)



自分のなりたい人になる

松井 あきほ

フリーランス
2016年卒業



社会科の教員になろうと歴文に入学しましたが、現在はグラフィックデザインを中心にフリーで活動しています。卒業後1社目ではベンチャー企業にて経理や営業など様々な業務に携わりました。けれど、その業務の中ではやりたいことが見つからず、社会人2年目で思い切ってキャリアチェンジ! 出版会社での経験を経た結果、いま一番やりがいのある仕事ができています。

今の私は、入学時に想像していた自分とは全く違いますが、今までの学びや経験が生かされ繋がっていると感じる瞬間も多く、また大学での挑戦が仕事で生きた場面も沢山あります。就活は大変で苦しい...と思うかもしれませんが、1社目で人生が決まるわけではありません。自分の好きなことを思いっきり楽しんで、なりたい人になりましょう!(フリーランス / デザイナー)

歴史との向き合い方を伝える仕事

飯田 杏

光明学園相模原高等学校 教諭
2019年卒業

高校教員をしています。大変ですが、生徒たちと楽しく過ごしています。

私はドイツ環境史について研究していました。テーマのある面白い授業を目指して、大学の学びが役立っています。授業ではもちろん、自分の専門外の内容を扱うこともあります。「歴史とどう向き合い、社会で活かすか」という根本の部分は同じです。歴文で専門性を深め、「歴史を学ぶ」ではなく「歴史で学ぶ」と教えていただいたことが、今を支えています。元々、将来の夢を決められずに入学しました。大学で、資格や委員など気になったことにたくさん挑戦していたら、自然と道が決まりました。やってみよう精神が良い経験になります。今もその気持ちで頑張っています。



Ⅰ 社会科教員への道

緩利 誠

全学共通教育センター・
歴史文化学科准教授/教育学

社会科の教師を目指すなら、2年次には自分が希望する自治体や校種を決めて教員採用試験(以下、教採)の対策を始めましょう。私立学校も一つの選択肢になります。特に社会科は、日本史、世界史、地理、倫理、政治・経済など専門教養に関する内容が多岐にわたるため、それらの内容理解にはかなりの時間がかかります。あわせて教職教養や一般教養の対策が求められます。また、最近は学校現場でのボランティアやインターンシップなど、教育実習以外の現場経験も重視されてきています。その他、面接や模擬授業、小論文の対策があります。自治体によっては大学3年次に教員採用試験の一部(各教養試験)を受験できるようにし始めているため、早くから対策するに越したことはありません。

教採に合格するのは難しい。よく聞く言葉です。もちろん、簡単ではありません。ただ、一般企業の採用試験とは異なり、教採の場合、出題内容とその傾向ははっきりしています。つまり、対策すればするほど合格率は確実に高まるわけで、決して悲観する必要はありません。対策のスタートは「自分が希望する自治体の過去問を解く」、そして、「中学校・高等学校の教科書を総復習する」ところからです。具体的な対策方法を知りたいければ、全学共通教育センターの教職課程担当教員を訪ねてみてください。最大限のサポートを約束します。教師になりたい、その想いをカタチにできるよう、ぜひアクションを起こしていきましょう。



Ⅰ 突き詰める覚悟をもって学芸員に

外館 恵子

弥生美術館 学芸員
2009年卒業

学芸員を目指す皆さんには、自分が興味を持ったことは、愛情と誠実さを持ってとことん突き詰めて欲しいと思います。現地へ赴いて作品や遺跡を自分の目で見て、自分なりの発見する喜びを体験してください。また学芸員は企画展示を行うと同時に、作品保存に関する専門知識も必要ですので、しっかり学んでください。そして一番大切なのは、学芸員になるのを諦めないこと。狭き門と言われていますが、学芸員になっている方は多くいらっしゃいます。雇用形態や仕事内容は様々ですが、どんな仕事であっても取り組む心持で挑み、アンテナを張り続けて、チャンスを逃さないことが大切ではないかと思います。



Ⅰ 気になることに挑戦する4年間

小尾 香菜子

日本通運株式会社
2019年卒業



私は現在、物流会社の美術品輸送の部署にて、展覧会等に伴う輸送業務の営業をしています。作品を安全に輸送するために、作品の梱包方法やスケジュールのご提案などが主な業務内容です。作業現場に出れば実際に作品に触れる機会もあり、学芸員課程で学んだことを活かしています。

入学当初は、美術品に関わる仕事に就きたいと思いながら、狭き門だとも感じておりました。プロジェクト型インターンシップや発掘調査などに参加する中で、視野が広がり自分がやりたいことを見つけることが出来ました。

4年間は長いようであっという間です。ぜひ、色々なことに挑戦して、沢山の人と出会って充実した4年間を過ごしてください。

Ⅰ 大学院への進学も選択にあります

野口 朋隆

歴史文化学科
准教授/日本近世史



歴文(学部)では勉強して研究の世界を知り、それぞれのテーマに基づいた卒論を作成します。しかし、それは始まりにすぎません。学問・研究の世界が広く深いことに気づくはずです。もっと知りたい、より研究を深めたいと考える人は大学院へ進学して下さい。大学院では自分の興味関心に沿って、専門的に学ぶことができます。また、教員や学芸員を目指す人にとって大学院修了は有利に働きますし、2022年4月から記録資料の選別・保管・閲覧などを職務とするアーキビスト資格に関する科目も設置されました。社会で専門的な知識をもとに仕事をしたい人も進学を考えてみて下さい。

Ⅰ 色々なことにたくさん興味をもって

石下 翔子

那須烏山市教育委員会事務局生涯学習課
2014年卒業(2016年大学院修了)



私は大学院を修了したあと、2年間ほど公益財団法人とちぎ未来づくり財団埋蔵文化財センターで嘱託職員として勤務したのち、現職である栃木県那須烏山市教育委員会事務局生涯学習課に勤務し、学芸員として市内の文化財に関わる仕事をしています。

私は考古学を専攻していましたが、現在では民俗や建築、彫刻など幅広い文化財を取り扱っています。市区町村に勤務する学芸員(文化財担当職員)は専門外のことも最低限はこなせなくてはなりません。昭和女子大学では様々な授業を履修することができるので、地方公共団体の学芸員として就職を考えているのであれば興味の幅を広げ、基礎学でもよいので履修することをお勧めします。研究対象についてはできれば大学院で深化させ、自らの幹を太くすることも重要だと思いますし、調査の主体となった経験は現在に生きていると思います。

Ⅰ 歴文生の道しるべ「歴文生の4年間」

鶴岡 明美

歴史文化学科
学科長・教授/日本美術史



「歴文生の4年間」は、私たちの経験をもとに作成した歴史文化学科での4年間の過ごし方モデルです。新入生の方々にはご自身の4年間をイメージしてもらえたでしょうか。大学生生活の不安を少しでも解消する手助けになればうれしいです。

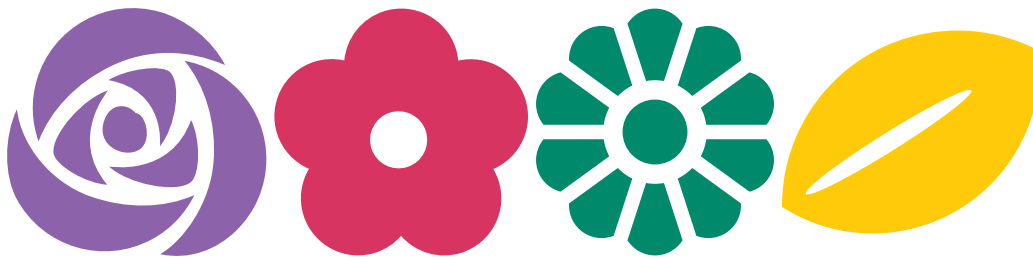
4年間を有効に過ごすためには、その時々でやるべきことがあります。また、大きな目標がある場合は準備を始めるタイミングもあります。時期とタイミングを逃さずに、計画的に4年間を送ってほしいと思います。具体的に言うと「歴文生の4年間」の軸は2つです。主軸である赤丸の専門分野の学びと、青丸の卒業後のキャリアについて考え準備をすること。更に授業だけではなく白丸の選択肢をどう組み合わせ、豊かな学生生活にしていくか。前提となるのは皆さん自身が自分の人生をどう生きていきたいか、になりたい自分についてよく考えることです。一人ひとり違うはずですから、それぞれ自分の道を描いてください。

また、その折々でこの冊子を開き、今何をすべきか確認して下さい。保護者の方とこれをもとに学生生活や将来について、話し合っていたいだきたいと思います。

最後に、いろいろな業界へ進んだ卒業生皆が一様に強調していることは、歴史文化の学びを突き詰めよ!真剣に歴史と向き合え!それが自信と強みになるよ!ということでした。ぜひこの言葉を4年間の指針にがんばってください。教職員一同応援しています。

歴史文化学科 キャリアデザイン・ポリシー

1. 歴史・文化を解明していく過程で得た知見や情報分析能力を活かし、社会活動における様々な分野で課題の発見と解決を自ら行なえる人材を育成する。
2. 多角的な視点から日本や世界の地理・歴史を深く学び、異文化に対する洞察力を備えた教員を育成する。
3. 学芸員・考古調査士・アーキビスト等の資格を持ち、歴史・文化に関する高い調査研究能力を身に付け、関連する諸機関で活躍できる専門人材を育成する。
4. 歴史と文化を深く理解し、自ら学んだことを活かしながら、地域協働の担い手となり得る公務員を育成する。



『歴文生の4年間 ～人生の土台とするために～』

発行 昭和女子大学 人間文化学部 歴史文化学科

〒154-8533 東京都世田谷区太子堂1-7-57

URL:<https://content.swu.ac.jp/rekibun-blog/> (歴文ブログ)

TEL:03-3411-5373 E-mail:rekibun@swu.ac.jp

発行日:2025年4月1日 印刷:株式会社スマッシュ

入試関係のお問い合わせは

[アドミッションセンター]

フリーダイヤル:0120-5171-86 (受付時間 平日9:00～16:00)

TEL:03-3411-5154 E-mail:spass@swu.ac.jp